



教育事務

【主な配属先】

公立小・中学校、県立高等学校・特別支援学校、教育委員会事務局、教育センターなどの教育機関

未来ある子どもたちを サポートする喜びを感じる日々

入庁2年目

諫早市立小野中学校

山内 卓也 やまうち たくや



長崎県の未来を担う子どもたちの成長を、教員とはまた違った視点から見守るのが私の使命。職員の給与・手当・福利厚生関係の事務にはじまり、学校運営に必要な消耗品や備品の購入・管理、学校施設の維持管理など業務内容は多岐にわたります。直接生徒と関わる機会は少ないですが、自分の仕事の先に生徒や先生がいることを常に意識しながら、事務をつかさどる者として、「チーム学校」の一員となり学校運営に参画しています。

そのきっかけをつくってくれたのが就職活動中のある出会い。県立高校の教育事務職員の方にお話を聞く機会があったのですが、その中で教育事務の仕事が職員の給与等のサポートをするだけでなく、学校運営における企画の立案・推進にも携わることができることを知りました。「手洗い場に屋根がついておらず、雨にぬれながら手を洗う生徒の姿を見て屋根の取り付け工事を提案。子どもたちが喜んでくれてうれしかった」というエピソードも印象的で。常にアンテナを張りながら、生徒や先生方の役に立てようになるのが今の私の目標です。

現在、私が勤務する中学校には教育事務職員は1人だけ。不安に思うこともありますが、相談できる体制がしっかりと整っているから大丈夫です。それは「共同実施」とよばれる制度。他の学校の教育事務職員の方と月に2回程度、職員の手当や旅費の支給に誤りがないかの確認や意見交換をする場が設けられています。私のような若手職員にとってはありがたい限り。より良い解決策や改善案と一緒に考えながら、楽しい学校生活が送れるようサポートしていきたいです。



生徒たちが興味や関心を示すような消耗品・備品は何か。校舎の巡回や先生方とのコミュニケーションの中にそのヒントが隠れています。限られた予算ながら自分の仕事が役に立ち、感謝の言葉をもらおうと喜びもひとしお。また長崎県は日本におけるアジア諸国の玄関口となる県。海外の学生との交流の機会をもっと増やし、多種多様な価値観を身に付けることができるような環境をつくってあげたいです。

休みの日の過ごし方

最近の楽しみは読書。外出自粛期間で本に触れることが多くなりました。学校に図書室があるんですが、教育事務職員も自由に借りられるんです。「〇〇先生おすすめの本」とか、テーマを設けて本が紹介されていて、自分が普段読まないようなジャンルと出会えて楽しいんです。もう少し余裕ができれば再開したいのが乗馬。ジョッキーに憧れて学生の頃に馬術を習っていたので、馬が恋しいですね。



[Facebook](#) [Twitter](#) [リンク集](#) [長崎県HP](#)

© 2021 Nagasaki Prefectural. All Rights Reserved